

関西福祉大学

校友会会報

Kansai University of Social Welfare

関西福祉大学校友会

平成14年9月30日



開学以来、更地のままだった中庭が整備され、花と緑に囲まれた憩いの空間に生まれ変わりました。
新しい中庭には散歩道とその周囲に芝生、季節の花々、樹木が植栽され、授業の合間にリラックスして過ごせるように所々にベンチが配置されています。

目次 CONTENTS

新校友会会長あいさつ 2

校友インタビュー 2・3

菱田敬子さん
北野克利さん
堀川一実さん
長野みどりさん
植月美夕さん

役員紹介 4・5

収支決算書 6

校友会会則 7

校友ネットワーク 8

西尾幸司さん
畑岡 要さん
仁科玲子さん

この1年を振り返って 9

安田美穂さん
家嶋親志さん

第2回卒業式 10

国家試験の結果 10・11

ロシア旅行記 11

学園ニュース 12

新校友会会長あいさし

前田 繁一



校友会のみなさん今日は！ いかがおすこしですが、大学の新しくできた中庭の花園は赤、青、黄色と美しく色どられ、七月の風の中でゆれていきます。

この六月、学長に就任し、二代目の校友会会長となりました前田です。よろしくお願ひします。私は、平成九年

四月、一期生の皆さんと一緒に新設関西福祉大学に入学（就任）し、「法学」の講義を持ちました。授業では、「基本人権とは何か」、「生存権とは」を講義し、それが福祉の原点であると議論したのが思い出されるでしょう。でも忘れたかな。しかし確かに単位はとった事でしょう。

でも、118教室は狭かったな。約三百名の期生が入室し、マイクを使って授業、私語のさざめきになやまされ、また、「キラキラ」輝く新入生の目に授業も随分と力を入れて講義をしました。赤穂のキャンパスライフはハッピーだったでしょう。

そろそろ校友会の皆様も大学が遠くなり、また懐かしくなる頃でしょう。皆さんのルーツの関西福祉大学の

校友会は忠臣蔵のふるさと赤穂の地でさんぜんと輝いています。現在、正会員五六〇名、準会員（在校生）約一〇五八名です。これから毎年約二百数十名つつ増えていきます。誠に頼もしいかぎりです。

私も学校の校友会は大好きです。自分の中学校・高校・大学同窓会へよく出かけては同窓生と、「青春」をやっています。出身校はいいものです。

本学校校友会則第三条に、会員相互の親睦、扶助等を図り、「と校友会の目的にかかれていきますように校友会は、「大学卒業生の仲好クラブ」です。校友会の皆様も校友会に時々、顔を出し、母校にも帰ってきて、「青春」をとりもとして下さい。関西福祉大学の校友会を皆さんの手で大いに発展させて下さい。今後、校友会の皆さんが社会で活躍されることを深く願っています。

interview

校友インタビュー

この春卒業した二期生のみなさんに現在の仕事、今後の抱負、後輩への一言を伺いました。

麥田敬子さん

（福生新生寿会 西部いごいの里）



ここは岡山県井原市高屋町の住宅街の中心にある三階建ての建物。一階は在宅介護支援センターと事務室、二階は市の公民館、三階はショートステイ三十床と市の在宅福祉総合施設となっている。市の業務を新生寿会が受託している。

Q、仕事はどのような？

A、一ヶ月はきのこグループの五ヶ所の施設を回り研修をつけました。五月からここでのショートステイで研修。介護

と入退所の受付を学んでいます。先日は入所希望者のお宅へ施設長さんを乗せて伺ったときは、緊張の連続でした。

学友とメールで連絡を取りながら励まし合っています。（本当に緒懸命頑張っている様子が伺える）

Q、これからの抱負は？

A、今が一杯。先輩に、研修ノートを見ていただき、少しずつ新しい面が見えてきて面白くなりました。みなさんに親切にしたいと思っています。

Q、休みの過ごし方は？

A、バタンキュー…。出来れば、笛（コーホニウム）を吹きたい。

Q、社会福祉士の資格もクリアしましたね

A、間違えて合格したのかと思いました。（謙遜、謙遜）

Q、後輩に一言

A、何事も就職活動も社会福祉士も（あきらめない事です）



長野みどりさん（写真上）・植月美夕さん（写真下）

（医）社田石橋内科 広畑センター病院 広畑ヘルパーステーション杏の里 デイケア

北野克利さん

(福徳財団大阪府済生会
知的障害者厚生施設ふくろの杜)



ふくろの杜は、シルバークレインの両翼に抱かれるように建っている地上四階、地下一階
入所者五十名、通所者五十名、ショート五名の施設。今年三月に落成式四月一日から入所開始

泉尾病院をはじめとする医療福祉センターと連携を取り、利用者が生き生きとした生活が運れるよう援助している。

堀川一美さん

(福聖三八学院 ミスプリル記念ホーム)



Q、社会人になつた感想は
A、当施設でアルバイトを一年間続けたため、あらためて社会人になつたという感じはありませんけど、アルバイトと違って責任感が出てきたと思います。職員になつて精一杯仕事をしています。

Q、通勤は
A、通勤は、十分くらい、早出は九時三十分、運出は十二時、夜勤は二十時からで週二回です。

Q、休日の過ごし方は
A、ゆつくりのんびり過ごしています。今は休む事で精一杯

Q、楽しい事は
A、約二十名の職員がいますが人間関係は良好でリーダー以外は全員二十才

Q、お久しぶりですどうですか

A、二ヶ月があつという間に過ぎましたが、大分慣れてきて楽しくなりました。

Q、通勤は

A、自転車で通っています。約二十分のところに部屋を借りていますので…。

Q、休日の過ごし方は

A、大阪市内を見学しながら散策しています。この前はアメリカ村に行きショッピングを楽しみました。

Q、後輩に伝えたい事は

A、四年生での就職活動は早く決める事だけではなく、納得の行く就職活動をするのだと思います。面倒くさがつて妥協すれば、あとから後悔が自分に降りかかってくる。もうと視野を広げ妥協せず就職活動をする事だと思います。

代ですので、話が合います。ティは主婦の方が多いのですが…

Q、やりがいがありますか

A、ユニットが四つになり、キッチンも部屋にあり、料理やカラオケ、介護など家族的な雰囲気での介護が出来ます。排泄表など作り、一人ひとりにあつた介護を考える事にやりがいを感じています。

Q、後輩に言

A、ボランティアでも良いから現場の体験をして、自分にあつた施設や事業所を選んでほしいと思います。

Q、社会福祉士国家資格に見事合格しましたね、秘訣は

A、卒業研究は早めに取組み、社会福祉士対策は四年生の夏ころから始め、特に十一月から集中して頑張りました。大学生活は何事にも計画的に集中して取り組む事ではないでしょうか。

Q、今後の抱負は、計画は

A、三年後に介護福祉士の資格を取りたいと思つてあります。

Q、関西福祉大学への思いは

A、地域の人柄も、空気も、環境もここ大阪と違い、ゆつくりとした学生生活が楽しめました。



(長野みどりさん)

Q、現在の仕事は

A、メテカリー・シャルワーカー(MSW) ケースワーカーといった仕事です。社会人として看護婦を七、八年経験したこと、大学で学んだ福祉工学、医療福祉の勉強が大変役に立っていると思います。

Q、ポジションが少ないMSWの職に就けたことはモチベーションが下がらないですか

A、MSWの何が良いのですか

A、サービス精神を発揮できる事、自分で仕事がコントロールできる事、又二種の地域福祉でもあると考えています。結果この病院の評価が上がるのが楽しみです…

Q、どのような相談がありますか

A、家に手すりを付ける相談とか、入退院の相談とか、電話で三十分以上相談する時もあります。

福祉住環境コーディネーターの勉強をした事、看護婦経験や大学での勉強、地域福祉活動(めだかの活動)などすべてが相談業務に役立っています。

Q、将来の抱負は

A、お金が貯まれば大学院へ行きたいし、地域福祉を極めたいと思つています。相談業務をしている人とネットワーク作りが出来ればと思います。

Q、後輩に言

A、国家試験は頑張ってください、通るかどうかで博が違つて、大学の支援如何ではなく、本当に合格しようと思つて下さい、ただいくら試験に合格しても、仕事ができなければ意味がないですけれどね。



(植月 美夕さん)

訪ねたときはティの利用者の方たちと食事中、急いで済ませて出てきてくれた。

Q、お仕事はどうですか

A、まだついていくのに精一杯、今が研修と言つた感じですが楽しいです。職場内の人間関係は非常に良いです

Q、事務長さんは近い将来、ソーシャルワーカー職として期待しているそうですが(名札を見せて)もう社会福祉士の肩書きが入っています…

Q、通勤は

A、二十分くらいです

Q、休日の過ごし方は

A、寝ています。

Q、第二期生に言いたいことは

A、ほちほち頑張っています

Q、後輩に

A、確りとした夢(目標)をもって頑張ってください。

(石橋事務長より)

長野さんは、採用前、アルバイトで力量は存じていました。大変率直な方で、将来は経営の中枢で活躍できる素養を持ち合わせておられると思います。が経験を通じて頑張っていたかどうかを考えています。

植月さんは、非常に優秀でバランス感覚に富んだ方だと思います。現在介護職として頑張っていますが、近い将来社会福祉士(ソーシャルワーカー)として広範な業務をこなしていたかどうかと思っています。

今までソーシャルワーカーとして職員を育てようとしたが、なかなか育たなかつたので、一人に期待しています。

役員紹介

Officer Introduction



副会長(副学長)
水野 洋



副会長(一期生)
藤田 正樹



⑨ 会長(学長)
前田 繁一



幹事(一期生)
木部 政治



幹事(一期生)
河村 梢



幹事(一期生)
加藤 大和



⑨ 理事(二期生)
松本 崇



⑨ 幹事(二期生)
浦 貴保



⑨ 幹事(二期生)
梅田 秀喜



幹事(助教授)
吉原 恵子



幹事(助教授)
溝端 剛



会計監事(一期生)
水谷 琴江



会計監事(助教授)
大山 摩希子



⑨ 幹事(広報課長)
山口 博文

※役職毎、期生50音順

※⑨は平成14年度において新たに就任した役員



新理事(二期生)
長野 みど



理事(一期生)
宮地 勇



理事(教授)
坂本 忠次



理事(一期生)
上野山 加壽美



理事(教授)
今岡 典和



幹事(会計主任)
星野 光也



幹事(一期生)
福井 弥生



幹事(一期生)
日和 理奈



幹事(一期生)
徳田 篤



幹事(事務局長)
酒井 敏男



新幹事(二期生)
森本 智香子



新幹事(二期生)
元佐 朋亨



新幹事(二期生)
丸島 知洋



新幹事(二期生)
中塚 和貴



新幹事(広報課主任)
小林 泰明



星野光也
(会計課長)

小林泰明
(事務課長)

山口博文
(事務局長)

八尾則子
(事務職員)

小坂職員の退職に伴い、校友会事務局担当職員が交替しました。また新たに事務局長、課長ポストを設け、四人体制で校友会事務を執り行います。今後とも皆様方のご支援とご協力をお願いいたします。

□事務局新体制で発足□

平成14年6月8日(土)に開催された、平成14年度関西福祉大学校友会第1回理事会・幹事会において、「平成13年度収支決算報告」「平成13年度事業報告」が承認されました。

収入の部

科目	予算(単位/円)	決算(単位/円)	差異(単位/円)	備 考
1.会費収入	99,593,000	99,817,500	224,500	会員(平成13年3月31日現在 1,328名) ・正会員 285名 ・準会員 989名 ・特別会員 54名 各年度収入額 ・平成9年度 2,190,000円 292名 ・平成10年度 4,050,000円 540名 ・平成11年度 5,970,000円 796名 ・平成12年度 49,207,500円 1,033名 / 延1,722名 ・平成13年度 38,400,000円 1,018名 / 延1,639名
2.寄付金収入	10,000	20,000	10,000	
3.雑収入	70,000	85,295	15,295	中国銀行 赤穂支店 普通・定期預金
(1)受取利息	(70,000)	(85,295)		
(2)雑入	(0)	(0)		
合 計	99,673,000	99,922,795	249,795	

支出の部

科目	予算(単位/円)	決算(単位/円)	差異(単位/円)	備 考
1.事務費	3,000,000	1,510,813	1,489,187	
(1)消耗品費	(150,000)	(55,877)	(94,123)	校友会用脇机、会報等送付ラベル
(2)旅費交通費	(800,000)	(588,771)	(211,229)	設立準備会、理事会、幹事会等来学費
(3)印刷製本費	(50,000)	(76,636)	(26,636)	校友会用封筒等印刷
(4)報酬手数料	(200,000)	(191,485)	(8,515)	設立準備会、理事会、幹事会、データ処理等件費
(5)通信費	(300,000)	(242,690)	(57,310)	設立総会案内状、校友会名簿、会報等送付料
(6)会議費	(300,000)	(292,254)	(7,746)	設立準備会、理事会、幹事会等業務打合せ会議
(7)渉外費	(100,000)	(7,392)	(92,608)	他大学校友会・同窓会訪問手土産
(8)備品費	(1,000,000)	(0)	(1,000,000)	未執行(校友会用パソコン等)
(9)雑費	(100,000)	(55,708)	(44,292)	設立総会参加者用食券、来学費等振込料
2.事業費	5,000,000	3,982,800	1,017,200	学章・校友会会員章作成、会員名簿・会報作成
3.予備費	6,000,000	0	6,000,000	
4.校友会館建設積立金	70,000,000	70,000,000	0	
5.次年度繰越金	15,673,000	24,429,182	8,756,182	次年度繰越金内訳 (定期預金¥23,919,628 普通預金¥254,432 小口現金¥255,122)
合 計	99,673,000	99,922,795	249,795	

平成13年度事業報告

1 会務

- (1) 設立準備会開催 平成13年3月15日、3月22日、4月 8日、
5月13日、6月10日、6月24日、
7月10日、8月 5日、9月 1日、
9月29日、10月20日、10月26日、
(計12回)
- (2) 設立総会開催 平成13年10月27日(土)
- (3) 第1回幹事会開催 平成14年 2月22日(土)
- (4) 第1回理事会開催 平成14年 2月22日(土)

2 事業

- (1) 設立準備号の発行 平成13年 9月25日
- (2) 校友会員名簿の発行 平成13年10月27日
- (3) 校友会章・学章の作成 平成14年 3月19日
- (4) 校友会会報の発行 平成14年 3月25日

関西福祉大学 校友会会則

第一章 総則

(名称)

第一条 本会は、関西福祉大学校友会と称する。

(事務所)

第二条 本会の事務所を、赤穂市新田三八〇三関西福祉大学内におく。

(目的)

第三条 本会は会員相互の親睦・扶助を図り、教養の向上に努めるとともに、母校の発展を援助し、社会に寄与することを目的とする。

(事業)

第四条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (一) 会報及び会員名簿の発行
- (二) 会員の懇親及び交流
- (三) 講演会、研究会等の開催
- (四) 母校の発展に寄与する事業
- (五) 種々の社会奉仕の事業
- (六) その他の必要な事業

第二章 会員

(会員)

第五条 本会の会員の種類及び資格は次のとおりとする。

- (一) 正会員 本学を卒業した者
 - (二) 準会員 本学の在學生
 - (三) 特別会員 本学の現職専任教職員
 - (四) 賛助会員 本会の目的に賛同する旨、理事会が承認した者
- 一 研究生、科目等履修生などが希望するときは、理事会の承認を得て正会員または賛助会員になることができる。
- (資格喪失)
- 第六条 本会の名譽をけがした者または本会の目的に反する行為を行なった者は、理事会の決定により除名されることがある。

第三章 役員

(役員)

第七条 本会に次の役員を置く。

- 一 本部長 一名
- (一) 会長 一名
- (二) 副会長 一名
- (三) 理事 十五名以内
- (四) 幹事 各卒業年次毎に六名以内及び会長の指名したも六名
- (五) 顧問 若干名
- (六) 会計監事 二名
- 二 支部役員 各支部一名
- (一) 支部長 一名
- (二) 支部副長 一名

- 第八条 役員の出選は次のとおりとする。
- (一) 会長は理事の互選による。
 - (二) 副会長は、理事の中から会長が委嘱する。
 - (三) 理事は幹事の中から選出された者とする。
 - (四) 幹事は各卒業年次毎に会員中より互選された者及び会長の指名した者とする。

- (五) 顧問は、理事会の承認を得て会長が委嘱する。
- (六) 会計監事は理事会において理事、幹事及び支部長以外の者から選出する。
- (七) 支部長は、各支部会員の中から互選する。

(役員任務) 第九條 役員は次のとおりとする。

- (一) 会長 会長はこの会を代表して会務を統括し、総会、理事会、幹事会及び支部長会議を召集する。
 - (二) 副会長 副会長は会長を輔佐し、会長が不在の際に支障あるときは、その職務を代行する。
 - (三) 理事 理事は理事会を組織し、第十二条第六項に定める事項を行う。
 - (四) 幹事 幹事は幹事会を組織し、第十三条第四項に定める事項を行う。
 - (五) 顧問 顧問は会長の諮問に応じ、助言を行うことができる。
- (六) 会計監事 会計監事は本会の会計及び収支決算を監査する。
- (役員任期) 第十条 役員は任期は三年とし、再任を妨げない。
- 一 役員に欠員が生じたときは、これを補充することができる。
 - 二 前項の役員は任期は、前任者の残任期間とする。
 - 三 役員は、退任しても後任者が就任するまでは、その責任を免れるものではない。

第四章 会議

第十一条 本会に次の会議を置く。

- (一) 総会
- (二) 理事会
- (三) 幹事会
- (四) 支部長会議

第十二条 総会は毎年一回年度初めにこれを開く。ただし、会長が必要と認めるとき、幹事会の議決があったとき及び会員総数の五分の一以上から会議の目的事項を示して請求があったときは、臨時総会を開く。

- 一 総会の召集は、議案、期日、場所等について会員に通知を発することとする。
 - 二 総会の議長は当日出席の会員中からこれを選ぶ。
 - 三 総会は次の事項について審議し、議決は出席会員の過半数による。可否同数のときは議長がこれを決する。
 - (一) 会務報告及び事業計画の承認
 - (二) 決算及び予算の承認
 - (三) 決算及び予算の承認
 - (四) 会則改廃の議決
 - (五) その他理事会において必要と認められた事項
- 総会は、原則として理事会及び幹事会において審議した事項を議題とする。ただし、緊急動議については、出席会員の過半数が承認した場合のみ議題とすることができる。

第十三条 理事会は会長が必要と認めるとき及び理事五名以上から会議の目的事項を示して請求のあったときを開く。

- 一 理事会は理事が半数以上出席しなければ開くことができない。
- 二 理事会の議長は会長が務める。
- 三 理事会の議決は、出席理事の過半数による。
- 四 理事会は総会及び幹事会に対して責任を負う。
- 五 理事会においては次の事項について審議、議決し、これを実行する。

- (一) 庶務、会計及び事業に関すること
 - (二) 総会及び幹事会の議案の審議
 - (三) 総会及び幹事会の議決事項の実行
 - (四) 予算案及び決算書の調整
 - (五) 職員任免及び処遇
 - (六) 会則及び会員に関すること
 - (七) その他会長の附議した事項
- 第十四条 (幹事会) 幹事会は理事会の必要と認めるとき及び幹事総数の三分の一以上から会議の目的事項を示して請求のあったときを開く。
- 一 幹事会の議長は出席幹事の互選による。
 - 二 幹事会は幹事総数の二分の一以上の出席者(委任状提出者を含む)をもって成立し、議決は出席者の過半数による。可否同数のときは議長がこれを決する。
 - 三 幹事会においては次の事項を行う。

- (一) 決算の承認及び予算案の協議

- (二) 各種事業の検討及び意見具申
 - (三) 会則及び細則改廃の承認
 - (四) 総会の議案の審議
 - (五) その他必要な事項
- (記録) 第十五条 総会、理事会、幹事会の議事はこれを記録し、議長及び記録者が署名押印の上、事務局において保存する。

第五章 事務局

第十六条 校友会事務局は関西福祉大学内に置く。

第十七条 事務局に、事務職員を置くことができる。

第十八条 事務局運営の細則は、会長が別に定める。

第六章 会計

第十九条 (経費) 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもつてこれに当てる。

第二十条 (会費) 正会員の会費は終身会費十二万円とし、在学中、毎年三万円を納入する。

第二十一条 特別会員の会費は年会費一万円とし、在職中、毎年度総会当日までこれを納入する。ただし、旧専任教職員は除く。

第二十二条 賛助会員の会費は年会費一万円とし、毎年度総会当日までこれを納入する。

第二十三条 その他、理事会及び幹事会において臨時に会費の徴収が必要と認められた場合は、その都度必要額を徴収する。

第二十四条 五 月に納入した会費は、還付しない。

(会計年度) 第二十五条 本会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。

第二十六条 本会の収支決算及び財産は、会計監査を経て総会に報告し、承認を得なければならない。

第七章 支部

(支部の設置) 第二十七条 (支部長) 理事会の議決を経て都道府県単位に支部をおくことができる。ただし、会員数の多い都道府県は若干の支部に分けることができる。

第二十八条 支部は、原則として当該都道府県に居住する会員をもつて構成員とする。

第二十九条 支部には支部長一名をおく。支部長は、支部会員の互選等により本部役員以外から選出する。任期は二年とする。

第三十条 支部長は支部を班に細分し、班長をおくことができる。(本部との連携) 第三十一条 支部長は支部長名、支部役員名、事務局の所在等を本部に報告しなければならない。

第三十二条 支部長は本部に協力し、支部会員の親睦をはかり、その活動状況を本部に報告しなければならない。

第三十三条 支部長は幹事会に出席し、求めに応じて意見をのべることをできる。(支部長会議) 第三十四条 支部長会議は一年に一回以上開くこととする。

第三十五条 (経費) 支部経費は各支部においてまかなう。本部は支部活動費の補助を行うことができる。

附則

一 この会則は、総会の議決を経なければ改廃することができない。

二 この会則は平成十三年四月一日より施行する。

三 本会設立時から当分の間の会長は、第八条の規定にかかわらず関西福祉大学の学長とする。

四 本会設立時から当分の間の幹事及び理事は、第八条の規定にかかわらず、関西福祉大学校友会の会長が指名した者とする。

校 友 ネ ツ ト ワ ー ク

卒業生の最新情報

二期生の活躍する職場へ事務局が訪問しました。その最新情報をお伝えします。

西尾圭司さん(二期生)

(福)恩賜財団大阪府済生会
泉尾特別養護老人ホーム第二大正園



泉尾特別老人ホーム第二大正園は大正区済生会泉尾病院を中心とした福祉ゾーンにあり、五階建て(地下一階、地上五階)で延べ床面積九三〇五平方メートルの水テル並の豪華な建物の三階と四階にある。その他、一階は総合事務室、地域交流センター、訪問介護ステーション、二階は身体障害者施設北村園、五階がケアハウスつづじ荘と多様な施設が一つの建物の中に配置されている。

西尾さんは現在、第二大正園で介護職として働いている。その第二大正園を訪問すると職員吉村主任が迎えてくれた。明るく快活な方だ。

早速、吉村主任より本学の卒業生に対するコメントをいただいた。

「第一大正園の西尾君は明るくてムードメーカー的存在です。また昨年採用した青木君は大正園に勤務し大変まじめで緑の下の力持ちという存在です。他の職員がいやがるような仕事を率先してやってくれます」

そう話をしていると西尾さんが現れた。

無精髭をはやし、たくましくなった感じだ。「遅くらい毎日それよ」とこちらから言葉を向けると照れ笑い。元気に仕事に取り組んでいる様子。

吉村主任から「彼の大学時代はどうでしたか?」と質問がでると「今と変わらず明るく活発で行動力のあ

畑岡 要さん(二期生)

(福)大阪厚生福祉会
社会就労センター「ワークセンターやまびこ」



野口施設長さん自ら玄関に立ち、にこやかな表情で出迎えてくれた。非常にフレンドリーな施設との第一印象を持った。

次に施設長の案内で畑岡さんの仕事場である「階」そこに畑岡さんの元気な姿があった。

畑岡さんの上司である石井主任により、畑岡さんの働きぶりについて説明を受けた。

「園では七名の就労メンバーに、それぞれに合った仕事をしてもらっています。畑岡さんはメンバーの要望や発言を読みとり、自分がすべき仕事は何なのかを常に考えています。メンバーとのコミュニケーションをとることに努力し、メンバーに慕われています」

そして畑岡さんに今の思いを語ってもらった。

「この職場に就職したのは職場の雰囲気や和やかでもよかったからです。今は新人職員なので要求することよりも、まず何でも仕事を覚えることが大切だと思っています。この仕事に就いてよかったと思っているのは、アルバイトを持って仕事に取り組めることです。」

続いて畑岡さんから後輩へのメッセージをもらった。

「限られた四年間、勉強・課外活動にプラス思考で楽しみなながら大学生活を送ってください」と笑顔で語ってく

仁科玲子さん(二期生)

(医)社団 同仁会 金光病院



岡山県浅口郡金光町。金光駅の南東にひときわ目立つ茶褐色の建物。それが仁科さんが勤務する金光病院だ。

受付で用件を伝えると、上司の原田次長と仁科さんが暖かい雰囲気です。

名刺交換すると仁科さんの名刺には、地域医療連携室 社会福祉士 仁科玲子とあった。

まず原田次長に金光病院の概要を説明していただいた。

「金光病院の前身は岡山大学医学部附属病院金光分院でした。現在は私立病院ですが、公立に近い運営を行っています。現在の病床数は一般が二〇〇床、療養型四十七床で、地域では大型の病院です」

続いて仁科さんが社会人になった感想を聞いた。

「一生懸命、頑張っています。無我夢中でゆっくりと考える暇がないのが現状です。現在はMSWの仕事を手探りの状態で立ち上げているところです」と仁科さん本人が作った、地域医療連携室「ユアル」を見せてくれた。

続けて仁科さんは、まだ短い経験ですが、MSWの仕事をごこなすには柔軟性が必要だと感じています。それと自分のやり方が良ければ、患者さんの人生が変わるかもしれない。非常にやりがいがある仕事です」

最後に後輩へのメッセージを語ってくれた。

「大学での勉強が大切なことはもちろんですが、任意実習など自ら体験の場を作ることが本当の力になると思

る学生でした」とお答えした。
西尾さんは入浴介助の業務中ということではばらくして退席。
吉村主任からは本学の卒業生は非常に頑張っているとの好意的な評価をいただいた。
西尾さん、青木さんの今後の検討を祈り施設を後にした。

この一年を振り返って 二期生の最新情報

安田美穂さん(二期生)

医療法人伯鳳会赤穂中央病院



私は赤穂市にある赤穂中央病院の地域医療連携室に所属しており、現在は主に健康診断を

担当しています。採用された時には、将来的には医療ソーシャルワーカーに」と聞いておりましたが、人事の異動もあって今はこの仕事をしていません。

希望と期待に落ちあふれ社会人になつた二年前、その厳しい世界を目の当たりにして、今でも学生に戻りたいと思うのが正直なところです。学生時代にはアルバイトを経験し、少なからずとも社会を知っていたつもりでしたが、現実はその甘くはありませんでした。

働いていて一番難しいと感じる事は、人とのコミュニケーションです。これは社会人というより人間として生きていく為の最も基本的な事であり、「何を今更」と思われるでしょうが、その最も基本的な事が、「一番難しい」と社会に出て初めて気付きました。それは四年間積み上げてきた知識や経験に期待していた自分にとっては、かなりショックな出来事でした。

特に総合病院では、事務以外にも医師や看護婦、コメディカルと部署が多くに分かれており、各部

れた。

畑岡さんは現在の職場が気に入って生き生きと仕事に取り組んでいるようだった。人間愛に満ちた素晴らしい上司や先輩方に囲まれて仕事に取り組み畑岡さんの姿がとても印象的だった。

置でも更に細分化されています。また院外とも連携が多いので、自分の思うことをいかに相手に明確に伝えるか、いかに相手の言わんとしていることを明確に理解するかが非常に重要となってきました。一人の患者様のことで多くのスタッフが動きます。人を介する数が増えるほど誤解や連絡ミスが生じやすくなります。それをいかに防ぐかがその人の技量だと思えます。

そんな私でも今年後輩が入り、その後輩と自分を比べると、自分でも気付かないうちに何から成長しているんだと感じるようになりました。

みなさんも焦らずに少しずつ成長していただくさい。そして、決して夢や希望をあきらめないでください。

家嶋親志さん(二期生)

日生町社会福祉協議会

(日生町役場より出向)



入庁してから約二年、社会人としての年公務員としての二年日々手探りで、上司の指導のもと、仕事を覚え、猛スピードで過ぎた年だったように思います。

福祉の専門大学を卒業して、日生町役場へ入庁。

います。在学中、岡山赤十字病院での任意実習で実務についての知識を得ると同時に、そこでできた人脈が今の仕事に役立っています。

中学生のときからの夢だったMSWになった彼女の表情は明るく自信に満ちていた。また新人職員であるが、ベテラン職員にも負けない存在感を放つ仁科さんに頼もしさを感じずにはいられなかった。

そして社会福祉協議会へ出向。一年目にして、大学で学んできた「自分の福祉像」というものを試せるチャンスだと思いました。

社会福祉協議会では地域福祉コーディネーターという職を命じてもらい、地域の諸問題を円滑に効率よく対処し、誰もが住みやすい町づくりのプランナーとして第一歩を踏み出しました。しかし仕事初めは、今何をしているのだらう」という疑問と早く仕事を覚えなくては」という焦りで頭の中がぐちゃぐちゃだった。だから解らない事があれば、理解できるまで上司に聞く。解らない事を隠さない。という初歩の目標をたて、上司に質問をする毎日だったように思います。

社会福祉協議会での私の担当は、ボランティア活動、老人クラブの事務局、地区社協分会、共同募金、地域福祉権利擁護事業など、二年目から大きな仕事を与えてもらって、多くの人に期待されている実感がありません。また、社協は地域福祉推進のための様々な事業を展開でき、事業を展開する中で接する多くの方からの助言や苦情が、自分を「回りも二回りも大きくしてくれたように思います。」

現在、市町村合併という大きな問題に直面していますが、変容する住民のニーズを的確に把握し、より効果的な施策に努め、安心して住める町づくりの創造に今後力を注いでいきたいと思えます。住民の立場に立つて住民とともに「を」をモットーに公務員として迎える二年目、良い意味で家嶋親志という人間を町民全員に知ってもらえるよう頑張りたい。

第二回卒業式

平成十三年度卒業式が平成十四年三月二十五日に赤穂市ハーモニーホールにおいて挙行されました。

第二回卒業生は二百三十一名。

代表の長野みどりさんが卒業生代表として教職員、地域の人たちへの感謝と素晴らしかった四

年間の学生生活について込み上げる感動を抑えながら述べました。

式典終了後はゼミごとに別れ、教員から各卒業生に卒業証書が手渡されました。全てのプログラムが終了しホールから出てきた卒業生を待ち受ける後輩達の歓声がハーモニーホールに響きわたりました。エンタランスホールはいつまでも名残を惜しむ卒業生達と後輩達の熱気に包まれていました。



社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の結果

第十四回社会福祉士国家試験及び第四回精神保健福祉士国家試験が平成十四年二月二十六日・二十七日に実施され、その結果が三月二十八日に発表されました。

現役学生(第二回卒業生)の合格者は社会福祉士、四七名(受験者九三名・合格率一四・五%)、精神保健福祉士五名

(受験者十一名・合格率四五・五%)という結果でした。現役の合格率は昨年度に比べ約五ポイント上昇し、まずまずの結果でした。残念にながら合格できなかった卒業生のみなさんは、今後は働きながらの厳しい受験となり

ます。しかし、未来の福祉を担う人材としての奮起を期待しています。なお第二回卒業生の合格者は社会福祉士〇名、精神保健福祉士は二名でした。以下が第二回卒業生の合格者名です。

第14回社会福祉士・第4回精神保健福祉士国家試験合格者リスト

平成13年度卒業生

(1) 社会福祉士国試合格者.....47名

浦 貴保	湯本 健作	野平 公章
小林 洋仁	澤田 理恵	浅居 真央
丸島 知洋	山本 覚子	堀川 一実
小迫 美絵	布野 智子	福田 佳代
東 陽介	重野 弘樹	西上しのぶ
神田麻由美	目黒 千章	岩田 佳子
石川 仁美	田野絵美子	藤原 慶子
正岡 裕子	小西 真理	植田 裕美
河東 美貴	長野みどり	山本ひとみ
山瑞 一美	三谷 彰	長岡 美樹
永島亜希子	仁科 玲子	太田智香子
野村 絵美	松本 崇	古澤奈津希
植月 美夕	辰野 智子	麥田 敬子
藪添さち子	小林 悦子	大西 千春
岸 剛健	森本智香子	丸菱由美子
木村 宏美	浅野 洋	

(2) 精神保健福祉士国試合格者.....5名

福田 佳代	岩田 佳子	山本ひとみ
西上しのぶ	藤原 慶子	

太字は、両方合格者

平成12年度卒業生

(1) 社会福祉士国試合格者.....10名

中原 由恵	川浦 章美	武内 明美
加藤由香里	中村 文子	田中 順子
井上 美香	藤森 正志	(岡本)
大蔵めぐみ	花形 真弓	

(2) 精神保健福祉士国試合格者.....2名

福井 弥生	中原 由恵
-------	-------

太字は、両方合格者

精神保健福祉士

.....46名

榎内 智
岡本 工
藤原 由佳
同前 和也
藤村 佳子
田井 教生
川根 朋士
時枝 真也
月野 敬介
岸本 努
北見 直也
木部 政治
木本 達男
山根佐也加

.....7名

山根佐也加

平成12年度卒業生

(1)社会福祉士国試合格者……

京本 奈美	二宮奈緒子
谷川 委未	池田奈緒子
中嶋 英伸	細川 健司
家嶋 親志	和田 景子
山下 智弘	常友田寿子
吉住 康子	中西亜紀子
松田理恵子	杉本 光世
梅川久美子	伊藤 裕介
高原久美子	水谷 琴江
富田 幸典	小久保満由
岸本枝里子	堀尾 裕子
岩内 美和	岩野 純子
田村 智之	金川 未来
伊藤 恵子	須々木雅江
山本 佳代	尾野 良子
安田 美穂	水永さつき

(2)精神保健福祉士国試合格者……

川浦 章美	木部 政治
北見 直也	塚本有美子
中安久美子	木本 達男

太字は、両方合格者

『ロシア旅行寸描』

副学長 水野 洋

「イリュージョン 古き機体に不安乗せ

よくぞ着きたり チェレメシボ空港」

開空からの季節一番機のアエロポートであったが、座席のテーブルはがたがた、大型スクリーンは故障、トイレは水が出にくく整備不良のうえ、サービスももひとつ、これもソ連邦国営航空の体質を継いでいるのであるが。

「物乞いの居並ぶ暗き地下道を上がれば 燦たる大クレムリン在り」

地下道で見た、若い母親が乳呑み児を抱え、物乞いする姿には、胸をうたれる思いがした。

スターリン時代から旧社会主義体制の時はどうだったか労働は保障されていたか一方権力の象徴クレムリンの壮大さ……

「革命の合図を撃てし、オーロラの砲首に遊ぶ子等の嬌声」

日本海海戦にも参加し一九二七年のロシア革命に際し、開始の号砲を撃った巡洋艦「オーロラ」、いまはペテルブルグのネバ川に静かに係留され、ペトログロフスタ要塞とともに観光名所になっ

ている。

「年金の足しにせんとして働ける

姥多くあり エルミタージユに」

ロシアの平均年金額は月額千五百円程という。このためかモスクワのトレチャコフ美術館、ペテルブルグのエルミタージユ美術館などで入口や各部屋で働いている老人が数多くいる。なぜか大半は女性である。男性の平均寿命は五十九才で年金受給年齢前に一生を終えるためか。ちなみに勤労者の平均月収は三万円とのこと。

「百万本杭を打ちたる大聖堂 難事の果ての高きドームか」

鋼矢板のない時代とて、基礎固めは松材はじめ固い木が多量に使われ、ロシア正教のイサク大聖堂は何と百万本が打ち込まれたという。また石材を使う難工事のため百二米というドームの建設に多数の人命が失われたという。

「社会主義 理想の失せしレーニン廟

今なお絶えぬ人人の列」

赤の広場にある革命の父レーニンの遺体が保存されているレーニン廟、十時開門といふことで長蛇の列、しかし突然「本日は見学中止」といふ。

このあたりが不可解、これもロシアであるが、翌日廻しにはなつたが、流石に遺体の防

処理は美事で、正に「生けるが如く」であった。

毎年恒例になっている大学の同窓による海外旅行、今年はロシアはモスクワ、サンクトペテルブルグの美術館、宮殿巡り、マリンスキー劇場でのバレエの鑑賞という文化の香り高い？ものでもあり、昼間は昼間で、また夜はホテルのバーで同伴のご夫人方も加わり、ウォッカ、ビール、ワインを楽しみつつ、学生時代から古希を迎える今日まで、半世紀にわたるそれぞれの人生を語り合えたのも、大きい収穫であった。同窓は大切にしましょ。

(理事 副会長)

ロシア旅行記 travel



原稿募集!

同窓会など各種の集いの記事や近況などをお寄せください。
宛先は関西福祉大学校友会事務局です。

記事の雰囲気にあわしい写真があれば添付してください。写真は発行後返却します

原稿及び写真の採否は事務局にご一任ください。

原稿への加筆、修正、削除をお願いすることがあります。



会報の表紙の写真とインタビューに登場していただける校友を募っています。自薦、他薦を問いません。事務局までご連絡ください。

新任 退職教職員

平成十四年四月日付
採用された教職員と
平成十三年度中に退
職した教職員は次の
とおりです。

平成14年度人事異動（採用・退職）

区 分	職 名	氏 名	
採 用 13名 (H14.4.1付)	教授	藤本 修	
	講師	金田 知子	
	教授	日下 知久	
	地区担当参事	中村 博	
	地区担当参事	高橋 哲郎	
	地区担当参事	鈴木 茂和	
	地区担当参事	小野 辰夫	
	地区担当参事	宮澤 繁雄	
	非常勤職員	酒井 彩子	
	非常勤職員	竈 三雅	
	非常勤職員	堺 美保	
	非常勤職員	三浦 優子	
	非常勤職員	大森 美枝	
	退 職 16名	教授	小林 敬子
		教授	竹淵 陽三
		教授	芳賀 純
助手		岩間 麻子	
助手		川上 華代	
参事		小坂 晋一	
事務職員		記村 康夫	
事務職員		久野 宏美	
非常勤職員		西本 朱美	
非常勤職員		松村 典子	
地区担当参事		山本 一成	
地区担当参事		河合 延佳	
地区担当参事	高田 昌彦		
地区担当参事	足立 清		
地区担当参事	山中 得司		
地区担当参事	二宮 正美		

就職状況

就職希望者数	就職実績	就職率	就職先種別		
			企業	福祉・医療関係	その他
194人	191人	98.5%	41人	146人	4人

卒業者数231名、うち就職希望者194人(84.0%)、進学・その他37人(16.0%)

業種別就職状況

	男性	女性	計	%
福祉関係	65	67	132	69.1%
老人福祉施設	36	44	80	
知的障害者施設	11	9	20	
児童福祉施設	8	7	15	
身体障害者施設	3	1	4	
社会福祉事業団	2	1	3	
社会福祉協議会	2	2	4	
その他の施設	1	2	3	
保育園	1	1	2	
特別医療法人財団	1	1	2	
社会福祉法人	1	1	2	
財団法人	1	1	2	
NPO	1	1	2	
医療関係	3	11	14	7.3%
一般病院・医院	2	5	7	
精神病院	1	4	5	
個人医院	1	2	3	
公務員	2	1	3	1.6%
公務員(市役所)	1	1	2	
公務員(その他)	1	1	2	
教 育	1	0	1	0.5%
その他教育	1	1	2	
企業関係	23	18	41	21.5%
小売業	7	10	17	
サービス業	4	5	9	
自動車小売業	3	3	6	
一般飲食店	2	2	4	
卸売業	1	1	2	
建設業	1	1	2	
製造業	2	2	4	
金融業	1	1	2	
不動産業	1	1	2	
通信・広告業	1	1	2	
未内定者数	2	1	3	1.5%
就職を希望しない者	23	14	37	16.0%
進学	7	2	9	
公務員受験準備	5	2	7	
アルバイト	2	1	3	
家事手伝い	1	3	4	
結婚	1	1	2	
その他	9	5	14	

第二回卒業生就職情報

就職率九八・五%と 第一回卒業生に続き大健闘

第一回卒業生の就職状況は就職希望者八四%のうち就職先を獲得した学生が九八・五%と第一回卒業生に続いてほぼ

一〇〇%近い就職率を達成しました。
これは第一回卒業生同様、東西走の就職活動を行い、自らの努力で勝ち得た尊い結果です。
「他の私立大学に比べて、非常

によい結果をのこしたのは、学生が自ら積極的に活動するといふ本学の伝統ができてきたからではないか。後に続く後輩も先輩を見習って頑張ってください」
(就職課長)

総会案内 平成14年関西福祉大学校友会総会のご案内

平成14年度校友会総会を以下のとおり開催いたします。当日は「汐風祭」も開催されています。ぜひご参加ください。

日時:平成14年10月27日(日)14:00～ 議題(予定):平成13年度事業報告・平成13年度決算報告

場所:本学218教室 平成14年度事業計画・平成14年度予算 他

当日、総会の前に理事会、幹事会を開催します。

■校友会事務局よりお知らせ

第1回卒業生に校友会から贈呈させていただきました、学章・校友会会員章の一部の会員について郵送中に桐箱等が破損したものがありませんでした。

箱やパッチが破損している場合取り替えさせていただきますので、校友会事務局(小林)までご連絡くださいますようお願いいたします。

校友会 会報 第2号

発行 平成14年9月30日
発行所 関西福祉大学 校友会
発行者 前田繁一
編集 事務局 小林泰明
〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3
TEL 0791-46-2525
FAX 0791-46-2526
Email koyukai@kusw.ac.jp
http://www.kusw.ac.jp(大学)